

人にも地域にも地球にもやさしい!

ESTモデル事業の事業構想

「環境交通のまち・あらかわ」の実現

荒川区では、公共交通ネットワークの活用、歩いて楽しい街づくりにより、二酸化炭素(CO₂)の排出量削減を図ります。

初年度
交通実態調査の実施、交通情報提供システムの検討等

2年目
トランジットモール、カーフリーゾーンの実証実験等

3年目
コミュニティバス(エタノール車)の延伸実験、共通ICカード導入等

3つの柱で「環境交通のまち・あらかわ」の実現を目指します。

- ・公共交通、自転車でも便利で快適に移動できる街
- ・自動車に頼らず歩いて暮らせるコンパクトな街
- ・区民参画、協働の安心、安全な交通の街

目標：CO₂前年比1%削減

目標：CO₂前年比1%削減



南千住東部地域(汐入地域：写真)を重点地域として、マイカー規制等を実施するとともに、パーク・アンド・ライド等を活用し、幹線交通網の整備を図り、「環境交通のまち・あらかわ」の実現を目指してまいります。



地元の町会、自治会、商店街、事業者等の方々との協働を通じて、将来につながる街づくりの仕組みを整えてまいります。



都電荒川線



コミュニティバス「さくら」